

南相馬からのメッセージ

想像 してみしてほしい

津波の被害があったことを。

家族や知り合いを目の前で亡くす現実を。

原発事故でとてつもない恐怖にさらされ、街が放射能に汚染された現実を。

3月11日の震災から人生で初めて放射能というものに不安になり、
いつ原発が爆発するのだろうかと、
爆発の映像が流れるたびに胸が張り裂けそうなくらい鼓動が激しくなりました。

そして離れて行く仲間達、取り残される街と住民。

あのころは県外に避難したとき、自分が南相馬から来たと他人に言うのが恐かったのです。
県外へ避難した福島県民が放射能を持ってくると迫害や差別されるという現実があったから。
もちろん優しく迎え入れてくれる方達もいらっしゃいました。
しかし、そのことは今でも私たちの心の中にトラウマとして残っています。

半年がたち、半分以上に減った市の人口は半分以上くらいに戻り、
ようやく大型電気店が再開するなど、徐々にですが街の状態は少しずつ戻りつつあります。

みんな自分の街にいたいから前向いて必死に頑張っています。
だから私たちに「頑張れ」という言葉はいらないのです。

それは私たちの現実を、「可哀そう」だけど頑張ってねという言葉になっているから。
私たちは今回の震災でたくさんの言葉に騙され、傷つきました。
今ではそれすらも飲み込んで頑張っています。

だから「応援」して欲しいのです。

その気持ちは私たちに活力を与えますから。

南相馬市の住民組織 福好再見 代表 西野貴守

南相馬の人達と交流会を開きます …..今 南相馬では

ワールドコラボフェスタ2011で復興支援Tシャツと福島産梨を販売される予定です。

支援ってなんだろう？ 今 現地はどうなっているのだろうか？ 学校は再開しているの？
マスコミの報道では分からない事だらけです

時間 10/22 (土) 18時 ~ 21時

場所 ウイルあいち第4会議室(地下鉄名城線市役所駅・2番出口より東へ徒歩10分)
TEL:052-962-2511

主催 チェルブイリ救援・中部 南相馬支援隊

*** 無料です カンパは歓迎です ****